

## 石川県立伝統産業工芸館企画展

# 「8 x 8 x 8」

平成27年3月30日

経営支援課伝統産業振興室

TEL:076-225-1526 (内 4465)

### 取材のお願い

石川県立伝統産業工芸館では、企画展「8 x 8 x 8」を下記の通り行います。この企画展は、作り手に現代生活に合った植物を楽しむための器/容器を提案してもらう事を意図した企画展で、タイトルの「8 x 8 x 8」は、「最大の大きさが8cmの立方体の中に収まる物」という事を意味しています。「使う」という事に焦点を当てたこの企画展を、ぜひ取材して頂きますようお願い致します。

◆ **タイトル：** 工芸館企画展「8 x 8 x 8」

◆ **開催趣旨：** いわゆる従来型の花びんには現代の生活にそぐわない点が認められる。  
1. 今の生活様式を考えると、従来のような大きな花瓶を置くスペースの確保が難しい。  
2. 装飾品として飾る大きな花瓶の需要は減ってきている。  
3. 家庭で楽しめる植物の種類が以前と比べて多様になってきている。  
4. 大きな花瓶に生ける花は結構高額である。  
しかしながら、生活空間にちょっとした緑を置きたいという欲求は広く認められる。今回の企画展では、上記のデメリットを解消するために「最大の大きさが8cmの立方体の中に収まる作品」という制限を設けて、作り手自らに植物を楽しむための小さな器/容器を提案してもらった。どこにでも置け、場所を取らず、空間をさりげなくおしやれに演出でき、道ばたや庭の雑草をさしても様になる、そんな作品の提案を目的とした企画展である。

◆ **企画展紹介：** 49人の出展者ごとに個別のスペースを用意し、作り手が書いた ①想定している具体的な置き場所 ②どのような植物のための容器か ③制作意図 を読む事で、それぞれに植物を入れた姿を想像しながら見学してもらえるように作品が配置されている。

◆ **会期：** 2015年4月1日(水) - 5月31日(水)

◆ **会場：** 1F エントランスホール展示スペース

◆ **展示品：** 175点

◆ **出展者(あいうえお順)：** 相川繁隆、青柳江実子、浅野恵理子、李 一烈、伊藤 彩、岩崎晴彦、内田健介、榎本千冬、奥田康夫、河上真琴、木澤孝則、金 至児、金 正逸、木村知幸、木村悠希、小池夏美、小島裕平、柴田有希佳、芝山佳範、島田章生、杉原 木三、関 真弓、竹下 努、タナカユミ、玉井智昭、寺嶋綾子、中川 豪、中平のり子、中平美彦、中矢嘉貴、名雪園代、野田里美、野村絵梨花、架谷庸子、引持玉緒、廣瀬由利子、福島祐紀、藤田紗代、船木大輔、本多絵美子、前田直紀、丸山 薫、三上 想、宮脇まゆみ、村井大介、村井陽子、本江和美、森本悦子、吉岡正義 (49名)



## <作品紹介>

今回展示される作品のいくつかを紹介します。作品はすべて、縦・横・高さが8cmの立方体に収まる大きさとなっています。それぞれ以下のような内容のコメントが付いています。

- ① 具体的な置き場所    ② どのような植物のための容器か    ③ コメント

### 1. 柴田有希佳



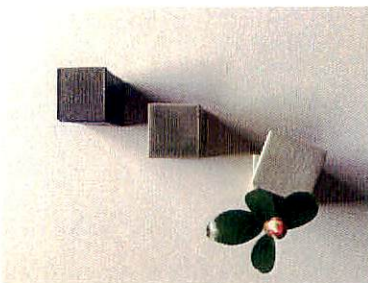
- ① 風の通るところ
- ② 花びら、葉っぱ
- ③ 桜の花びらを散らすと「春の川」。紅葉した楓を浮かべると「秋の川」にもなりましょう。風の通るところに置いてください。揺れる四季の川面を感じて下さったら幸いです。

### 2. 小池夏美



- ① 玄関
- ② 身の回りの草花
- ③ 普段は何となく見ている庭の雑草や道端に咲く花も、心が晴れやかなときに見る花はいつもより美しく感じたり、子供が散歩道で摘んだ雑草は何だか特別な草にみえたりします。そんな草花を飾って楽しんで頂きたいです。

### 3. 岩崎晴彦



- ① 机の上
- ② 身の回りの草木
- ③ フタ付の花器  
使う時は乾山変わりにフタを利用して花を生けてもらい、使わない時（花がない時）はフタを閉めインテリアとして置いてもらえばいいかなと思い制作しました。

### 4. 前田直紀



日常に野の花などミニ花器として。明るいとこで使ってもらえると一層の華やかさの演出になるかと思えます。

### 5. 野田里美



- ① 玄関、テーブル、キッチン、トイレ
- ② 庭や身の回りの何気ない草花を。
- ③ 散歩の途中、庭にある何気ない草花。  
それを摘んでちよんと挿す。そんな日常を何気なく楽しんで頂けたらと思います。

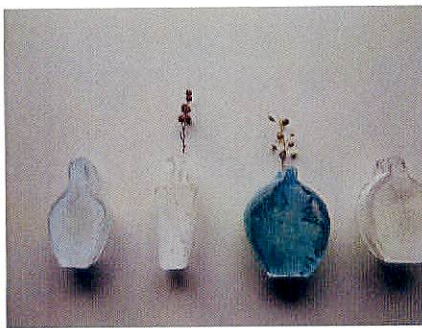


## 6. 河上真琴



普段僕の部屋に花瓶はないけれど、たまに道端で目に留まった花を摘んで机の隅に活けてみることもある。その年にほんの数日ほどだけ僕の部屋には一輪挿しが現れるのだが、でもそれはあるとないとでは大違いの数日なのだ。よくよくみると小さな野草ほど姿かたち可憐にして葉肌きめ細かく、花卉を覗き込めば緻密さ極まりその儚さいよいよ薫り立つ。そういうのは部屋に活けてじっくり愛でて初めて気付くことである。この花器は普段は引き出しに入る大きさで、チタン製なので丈夫で錆びず仕舞いっぱなしに具合がいい。花も真っ直ぐ活けられる。

## 7. タナカユミ



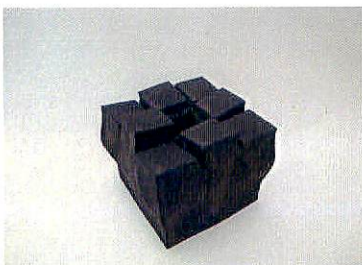
- ① 本棚の間、玄関先やリビングのテーブルの上にチョココンと置いて、好きな花をチョココンとさして。
- ② 散歩で見つけた小さな野花や庭先の花を気軽にさして。
- ③ 日々庭先の草花を一輪ずつ小さな小瓶に刺して並べています。散歩で見つけた小さな野花やヒュルルと延びた蔦など、お気に入りを選んで摘んで帰ります。私の作った作品は、絵の中から飛び出たような壺たち。草花をいけてもいけなくても絵になるよう作りました。

## 8. 本多絵美子 (チームものけん)



- ① 勉強机や職場のデスク
- ② サボテンや多肉植物
- ③ モノコルは、普段捨てられるワインやシャンパンのコルクを再利用した植木鉢です。コルクという素材は吸湿性、防腐性があり、サボテンや多肉植物を育てるのに適しています。モノコルをより楽しんでもらう為に、木と陶の台を制作しました。木の台は、マグネットで着脱が可能になっています。陶の台はモノコルを優しく支えてくれます。モノコルが、あなたの勉強机や職場のデスクを癒してくれることでしょう。

## 9. 李 一烈



- ① 床の間又は色が単調な空間
- ② 鮮やか色の花1本をフローラルフォーム(オアシス)に挿して花瓶の穴に入れる。
- ③ 花の生き生きとした生命感を活かす為の一輪ざしです。無機質で色気のない空間に置いた方が良いでしょう。



## 10. 引持玉緒



- ① キッチン・食卓・パソコンデスク・玄関
- ② 子どもが通学路で摘んでくるような野の花  
(たんぽぽ・しろつめ草・猫じゃらし・野菊)
- ③ COVER : 摘んでしまうと手の中で萎んでしまう野の花。いっときの花を飾るためのフラワーベースカバーです。小さなガラスの器を内側にしこみ、COVERをかぶせて使います。漆だからと気を張る事なく、仕組んだガラス器を水洗いするだけの簡単なお手入れで使えます。自由に形づくる「練乾漆」の技術を活かして萎んでも、花首が短くても生けやすい様に花止めのくぼみをつけました。子どもたちが摘んできたお花をおろそかにしていた反省を込めて。。。

## 11. 玉井智昭



- ① 想定している置き場所：リビングテーブル
- ② 野に咲く花
- ③ 本作品は、「家族団らんの場」・「一人暮らしの方でもホッと一息つける」場所として考えられる、リビングテーブルに置くことを想定して製作しました。ちょっとした野に咲く小さな花でも、四季を感じ・匂いを感じ、かつ空間演出を担う要素の一つにもなると思います。今回の作品に花を生けて、新たな良き生活空間の手助けとなれば幸いに思います。(本作品の水受けは、ペットボトルの再利用です)

### 問合せ及び取材申し込み先：

石川県立伝統産業工芸館 <http://www.ishikawa-densankan.jp/>

TEL : 076-262-2020

指定管理者ナカダ・クラフトプロジェクト

プログラム担当： 館長代理 柳井 篤子

携帯 090-3470-2469 E-mail : [707@nkding.co.jp](mailto:707@nkding.co.jp)

<出展者プロフィール> (あいうえお順)

相川繁隆

石川県生まれ

金沢美術工芸大学工芸デザイン科卒業

<受賞歴>

1991年 工芸都市高岡クラフトコンペ・グランプリ

1997年 かわさき産業デザインコンペ・優秀賞

1997年 美術工芸振興佐藤基金淡水翁賞

1997年 グッドデザイン賞・中小企業庁長官特別賞

グッドデザイン賞 6回

<主な個展・グループ展>

1999年 現代日本美術の動勢 (富山県立近代美術館)

2000年 2000 objects for New Millennium (Gallery91/NY)

2002年 From The Rising Sun (VIZO/Belgium)

2007年 Cross Currents (Chicago/USA)

2011年 International Craft Design Exhibition (Taipei)

<現在>

公益社団法人日本クラフトデザイン副理事長

青柳江美子

1980年 埼玉県生まれ

2008年 岐阜県立多治見工業高校 専攻科(陶磁科学芸術科) 卒業

2011年 あかりアート展 優秀賞

現在、陶器デザインの仕事を退職後、2013年独立し、愛知県瀬戸市にて作品制作をしています。

浅野恵理子

1987年 石川県生まれ

2010年 富山ガラス造形研究所研究科 修了

2014年 金沢卯辰山工芸工房 修了

現在、石川県内で制作活動

<受賞歴>

2013年 第8回清州国際工芸公募展韓国 特選

国際ガラス展金沢・2013 入選

<個展・グループ展>

2012年 個展「浅野恵理子 - 切子を纏ったオブジェ」 ギャラリー銀座アルトン

2013年 個展「浅野恵理子ガラス展」 山ノ上ギャラリー 金沢

2014年 個展「光のリズム」 アートスペース感 京都

「AGNÈS LOVES JAPON」 新宿伊勢丹/アニエスベー青山店

「Art Jam」 3331 Arts Chiyoda Gallery Jin 東京

李 一烈

1975年 韓国生まれ

2007年 金沢美術工芸大学大学院美術工芸研究科修士課程修了

2010年 金沢美術工芸大学大学院美術工芸研究科博士課程修了・芸術博士学位取得

現在、かほく市のアトリエにて作品制作を行っている

<受賞歴>

2006年 石川現代工芸展「奨励賞」

- 2007年 第5回麒麟アートコンクール「大賞」  
2010年 アート&クラフト in 御仏供杉公募展「優秀賞」  
2014年 アート&クラフト in 御仏供杉公募展「大賞」

<主な個展・グループ展>

- 2010年 「個展」(東京/銀座、ギャラリーなつか)  
2012年 「Future Tradition WAO」(アメリカ/ニューヨーク・フランス/パリ)  
2012年 「アートコスター2012」(金沢/市民芸術村)  
2012年 「Cook It Raw - 15の挑戦」(金沢/石川県伝統産業工芸館)  
2013年 「京畿世界陶磁ビエンナーレ：HOT ROOKIES」(韓国/京畿道)

伊藤 彩

- 1985年 兵庫県姫路市生まれ  
2008年 京都女子大学家政学部生活造形学科卒業  
2010年 京都伝統工芸大学校陶芸専攻卒業  
4年間山本長左氏に師事

現在、石川県立九谷焼技術者自立支援工房にて制作を行っています。

<受賞歴>

- 2010年 京都伝統工芸大学校卒業展「財団法人京都伝統工芸産業支援センター 佳作」受賞

<主なグループ展>

- 2014年 「藍九谷山本長左とアンティーク黒龍堂展併設内弟子一門展」(茶房 一笑)  
「藍九谷 良い器と過ごす日々」(CAFE GALLERY FAISONS)

岩崎晴彦

- 1969年 石川県生まれ  
1991年～94年 卯辰山工芸工房にて研修

<受賞歴>

- 1993年 朝日現代クラフト展 入選  
2001年 石川県デザイン展 石川県クラフトデザイン協会会長賞 受賞

<主な個展>

- 2002年 松屋銀座7階アートギャラリー (東京)  
2009年 茶房一笑 (石川)  
2012年 galleria ACCa (東京)

内田健介

- 1973年 神奈川県生まれ  
1998年 国際基督教大学卒業  
会社勤めを経て2004年より金沢に移住。

現在、岩本清商店にて桐工芸品を制作している。

<主な個展>

- 2014年 「桐の木」(金沢 モノトヒト 30 days labo)

榎本千冬

- 1950年 神奈川県生まれ  
1973年 国学院大学卒業  
1975年 大分県別府高等職業訓練校竹工芸科終了  
1985年 石川県立輪島漆芸技術研修所卒業

現在 日本工芸会正会員 輪島漆芸技術研修所講師

<受賞歴>

- 1989年 新世紀への塗り、漆展 特別賞
- 1990年 明日への茶道美術公募展 奨励賞
- 1993年 石川の伝統工芸展 県知事賞
- 1999年 ドイツバイエルン州政府 金賞
- 2014年 高岡クラフト展 優秀賞

<主な個展 グループ展>

- 1999年 ハンドワークメッセミュンヘン (ドイツ)
- 2002年 世界の編み10人展 (ニューヨーク、ギャラリー)
- 2007年 3人展 (阪急百貨店うめだ本店ギャラリー)
- 2010年 個展 (銀座 ギャラリーおかりや)

奥田康夫

- 1981年 兵庫県生まれ
- 2006年 東京藝術大学 美術学部 工芸学科 陶芸専攻 卒業
- 2008年 東京藝術大学 美術研究科 工芸専攻 ガラス造形研究室 修了
- 2009~12年 東京藝術大学 ガラス造形研究室 教育研究助手
- 2012年~ 千葉県に築窯し作家活動

<賞歴>

- 2008年 第3回現代ガラス大賞展・富山2008 奨励賞
- 2011年 Corning Museum of Glass New Glass Review 32, 33(2012年) 入選  
第4回現代ガラス大賞展・富山2011 入選  
第51回, 52回(2012年) 日本クラフト展 入選
- 2012年 第5回 KOGANEZAKI「器のかたち」現代ガラス展 入選

<展覧会>

- 2005~14年 グループ展「杜窯会作陶展」(東京 日本橋三越)
- 2009~14年 グループ展「いろは展」(東京 青山桃林堂画廊)
- 2011年 個展「奥田康夫作品展~ヒビのオブジェとガラスのうつわ~」(栃木 kyohan six gallery)
- 2013年 グループ展「東京藝術大学陶芸研究室歴代教員展」(東京 藝大アートプラザ)
- 2014年 グループ展「フィギアオブセラミック」(神奈川 東急百貨店たまプラーザ店)

川上真琴

- 1989年 石川県生まれ
- 2011年金沢美術工芸大学 製品デザイン専攻卒業

現在、自宅工房「あとリエ三昧亭」にて作品制作を行っている。

<主な個展・グループ展>

- 2011年 「あかりとひびき展」(京都/法然院)
- 2012年 「個展 河上真琴・鉄の響き展」(大阪/こうえつ庵)
- 2013年 「個展 鉄が踊りだすとき」(石川/工芸空間 FAISONS)
- 2014年 「キリムと灯り展」(奈良/ギャラリー夢雲)
- 2015年 「あかりとひびき 河上知明・真琴展」(鹿児島/壺中楽)

木澤孝則

- 1970年 石川県生まれ
- 2009年 珠洲市陶芸センター 卒業

現在、木澤工芸室で作陶

金 至児

2007年 金沢美術工芸大学大学院美術工芸研究科修士課程修了

現在、かほく市のアトリエにて作品制作を行っている

<受賞歴>

2005年 第3回麒麟アートコンクール「大賞」

2006年 石川現代工芸展「市長賞」

2010年 アート&クラフト in 御仏供杉公募展「優秀賞」

2013年 第7回 雪のデザイン賞「佳作」

2014年 第1回「純米酒やましろ」を飲む「入賞」

<主な個展・グループ展>

2010年 「第71回 Tokyo International Gift Show」(東京)

2012年 「COOK IT RAW 創作器展」(金沢/クラフト広阪)

2012年 「Future Tradition WAO」(アメリカ/ニューヨーク・フランス/パリ)

2013年 「第7回 雪のデザイン賞」(加賀/中谷宇吉郎 雪の科学館)

2014年 「第53回 日本クラフト展」(東京/東京ミッドタウン・デザインハブ)

金 正逸

1965 韓国生まれ

2002 金沢美術工芸大学大学院博士後期課程陶磁コース修了

現在、陶造形作家・オープンアトリエ金陶房自営

<受賞歴>

2002 第40回朝日陶芸展40回記念特別賞受賞

2003 第42回北陸中日美術展FM石川賞受賞

2006 第4回ユモア陶彫展金賞受賞

2013 第24回吉野工芸の里フェスタ優秀賞受賞

2014 石川の現代工芸展大賞受賞

<主な個展・グループ展>

2002 INAXギャラリー-2 (京橋) やきもの新感覚シリーズ (常滑)

2008 Galeria Punto Zero (岡山)

2009 世界陶磁ビエンナーレ出品 (韓国)

2013 西田幾多郎記念哲学館(石川県)

2014 海の森ギャラリー (金沢) ギャラリー-水・土・木(東京)

木村知幸

1966年 石川県生まれ

1990年 東京造形大学 造形学部デザイン学科Ⅱ類卒業

1996年 岐阜県 森林たくみ塾 卒業

静岡県 勝見木工にて家具制作に携わる

1998年 石川県にて、工房いんぎらあと開設

現在、金沢科学技術専門学校家具クラフト学科にて木工技術を教えながら、工房いんぎらあととして注文家具や小物の制作を行っている。

<受賞歴>

2000年 朝日新聞社「暮らしの中の椅子展」入選

2004年 高岡クラフトコンペ 入選



2005年 高岡クラフトコンペ 入選

2010年 金沢産木材活用コンペ 優秀賞

木村悠希

1984年 岐阜県生まれ

2008年 武蔵野美術大学造形学部工芸工業デザイン学科卒業

2011年 武蔵野美術大学大学院修士課程造形研究科デザイン専攻修了

現在、岐阜県の自宅にて個人で制作活動を行っている。

<主な個展・グループ展>

2013年 「クリマ×ハンズ」(東急ハンズ名古屋店)

「創作楽市」(西武岡崎店)

2014年 「創作楽市」(西武岡崎店)

「ハンズ・クリエーターズ・プラス」(東急ハンズ梅田店)

「ハンドメイドマルシェ」(三越星が丘店)

小池夏美

1983年 群馬県生まれ

2008年 愛知県立芸術大学大学院修了

現在、子育ての傍ら作品制作を行っている。

小島裕平

1989年 神奈川県生まれ

2007年 (有)木路 入社、雑木囃子 加入

現在、(有)木路にて箱根寄木細工の製造を行っている。

<受賞歴>

2008年 第5回全国『木のクラフトコンペ』特別賞 受賞

2012年 第52回 日本クラフト展 入選

2014年 第53回 日本クラフト展 入選

<主な個展・グループ展>

2009年 雑木囃子 小田原箱根寄木細工展 (大阪 GALLERY anima)

2009年 「雑木囃子の新しい寄木」(D&DEPARTMENT 東京奥沢)

2011年 寄木の若いかたち 特別展 (銀座AC GALLERY)

2011年 雑木囃子 小田原箱根寄木細工展 (日本橋三越)

2014年 第5回 寄木の若いかたち展 (小田原・なりわい交流館)

柴田有希佳

1984 福井県福井市生まれ

2006 金城大学短期大学部美術コース研究生修了

2008 石川県立九谷焼技術研修所研究科修了

現在、山田義明氏に師事

<受賞歴>

2011 伝統九谷焼工芸展新人賞

女流陶芸展 T氏賞

2013 伝統九谷焼工芸展奨励賞

2014 伝統九谷焼工芸展優秀賞

<個展>

2013 「柴田有希佳 陶展」(能美市立九谷焼資料館)

2014 「玉響」(金沢画廊)

芝山佳範

1975年 石川県金沢市生まれ

1994年 石川県立工業高等学校工芸科卒業

2000年 石川県立輪島漆芸技術研修所沈金科卒業

2003年 日本工芸会正会員沈金西勝廣氏に師事し年季明けを許される

現在、金沢市広坂にてGALLERY & WORKSHOP COLONYを運営。

<受賞歴>

2006年 第45回輪島塗見本展 輪島塗技術保存会会長賞

2010年 平成22年度石川県伝統産業優秀技術奨励賞

2014年 平成26年度伝統的工芸品産業功労者等経済産業大臣奨励賞

<主な個展・グループ展>

2006年 日豪交流事業 オーストラリア ハミルトン美術館にてグループ展  
「～漆工研究会漆芸作品展～」

2010年 在英国日本大使館にてグループ展「LACQUERED IN JAPAN」

2014年 佐賀玉屋にて親子展「沈金親子展 西勝廣、中山真知子、芝山佳範」  
京王百貨店新宿店にて個展「沈金師芝山佳範漆芸展漆の中の生き物たち」

島田章生

1965年 石川県小松市生まれ

1989年 県立九谷焼技術研修所 基礎コース 入学

1992年 県立九谷焼技術研修所 専門コース 卒業  
同年(株)九谷焼美陶園入社

2009年 (株)九谷焼美陶園 退社

十月より九谷焼技術者自立支援工房にて「霽窯」(はれがま)を出口氏と立ち上げ

2013年 十月より山代温泉に工房を移し作陶活動中

杉原木三

1980年 宮崎県生まれ

2003年 宮崎大学教育文化学部生活文化課程芸術文化コース卒業

2005年 東京藝術大学大学院美術研究科工芸専攻修了(鑄金研究室)

現在、宮崎県東諸県郡綾町在住(杉原木三鑄金工房にて制作)日本鑄金家協会会員

<受賞歴>

2002年 宮日美術展工芸部門 奨励賞受賞

2007年 第4回佐野ルネッサンス鑄金展 入選

2010年 第5回大黒屋現代アート公募展 入選

2011年 第6回佐野ルネッサンス鑄金展 入選

2013年 第7回佐野ルネッサンス鑄金展 入選

<主な個展・グループ展>

2008年 個展「いものもいもの」(宮崎県・綾国際クラフトの城)

2010年 第8回A-ONE国際現代美術祭‘ANDANTE’(韓国テグ市・テグ文化会館)

2010年 素材と表現2010(福井市美術館)

2011年 杉原木三個展～思考の出口～ (宮崎県立美術館)  
2012年 第20回国際丹南アートフェスティバル2012 (越前市民ホール/金沢21世紀美術館)

関 真弓

1984年 静岡県生まれ

2002年 静岡県立松崎高等学校 卒業

2005年 武蔵野栄養専門学校 卒業

2010年より静岡県松崎町にて工房を構えアクセサリーや小さなオブジェをメインに制作活動中  
<主な個展・グループ展>

2012～15 河津さくら グループ展 (スペースセレッソ)

2013, 14 小さなガラスの作品展 (ha-na 自由が丘店)

2013 わくわく蟲大學展 (ギャラリー喫茶 侘助)

竹下 努

1986年 長野に生まれる

2007年 岐阜県立多治見工業高校専攻科卒業

岐阜県重要無形文化財保持者玉置保夫先生に師事

現在、土岐市にて作陶中

<受賞歴>

2011年 土岐市織部の日記念事業 第4回現代茶陶展「入選」

2013年 第20回美濃陶芸庄六賞茶碗展「銀賞」受賞

2014年 第3回そば猪口アート公募展「入選」

<展歴>

2013年 丸栄「ギャラリーエスパス」にて玉置保夫一門展

2014年 陶芸作家展2014(セラミックパークMINO/多治見)

おおくて廃校プロジェクト 20のてのひら(旧大湫小学校/瑞浪)

タナカユミ

長野県生まれ

1998年 富山ガラス造形研究所 造形科 卒業

2002年 金沢卯辰山工芸工房 ガラス工房 研修終了

2002年～現在、MellowGlassとして活動。日々硝子と向き合っています。

<受賞歴>

2000年 伊丹酒盃台展 奨励賞

金沢市工芸展 奨励賞

2001年 Wan One 展 奨励賞

2002年 日本現代ガラス展・能登島 入選 (能登島ガラス美術館)

1997～2002年 New Glass Review 18.19.20.21.22.23 (N.Y. Corning Museum of Glass)

<2009年以降の主な個展>

2011年 個展 Mellow Glass 家とドロップ展 IDEE ( IDEE SHOP Variete)

個展 Mellow Glass 硝子の木と家展 nico (神戸)

2012年 個展 ひだまり硝子店 collabon (金沢)



個展 夏硝子の眺め 15 茶房一笑 (金沢)

個展 Mellow Glass 硝子作品展 nico (神戸)

玉井智昭

1971年 埼玉県生まれ

1993年 拓殖大学工学部工業デザイン学科卒業

2003年 石川県立山中漆器産業技術センター 石川県挽物轆轤技術研修所卒業

現在、実家に工房を開業し、主に木地の注文製作を行っている。

<受賞歴>

2008年 第55回日本伝統工芸展 日本工芸会奨励賞

(第51, 56, 57, 58, 59, 60 入選)

2014年 第54回東日本伝統工芸展 三越伊勢丹賞

(第44, 46, 47, 49, 52, 53 入選)

現在、公益社団法人 日本工芸会正会員

<主な個展・グループ展>

2012年 玉井智昭 木工芸展 (栃木県栃木市 ぎやらりいぜん)

寺嶋綾子

1973年 東京都生まれ

1996年 大阪産業大学工学部環境デザイン学科 クラフトコース卒業

1997年より、奈良県にて別の仕事をしながら独自に陶器の制作を始める。

現在、うつわ作家として制作活動・各地での出展活動を行っている。

<主な個展・グループ展>

2000年頃～ 植物のうつわ展等、近畿を中心に個展・グループ展を開催。

2009年～ 東京 ギャラリー悠玄 企画展に参加。

中川 豪

1976年 東京都生まれ

2001年 石川県立九谷焼技術研修所卒業

北山 裕氏に師事

現在、能美市寺井町にて作品制作を行っている。

<主な個展・グループ展>

2014年 「花咲く金沢」(SAKE SHOP 福光屋玉川店)

中平のり子

1964年 東京生まれ

1985年 文教大学女子短期大学部卒業

現在、ボタン作家として 企画展、陶芸家の夫とギャラリーにて二人展を開く。

<主な個展>

毎年 ギャラリーにて 二人展。

金沢の自宅にて「うち個展」を2009年より1年に1回、主催。

中平美彦

1960年 東京生まれ

1985年 東京水産大学卒業

1994年 岐阜県多治見窯業高校専攻科卒業

一年を通じて 東京を中心に各地のデパートで個展をひらいている。

<主な個展>

毎年 日本橋三越本店 5階ダイニング 6月11月

新宿伊勢丹 5階ダイニング 8月2月

銀座三越・恵比寿三越・札幌三越

新潟三越・横浜高島屋

ギャラリー悠 (東京・両国)

中矢嘉貴

1972年 京都市生まれ

1997年 立命館大学大学院 機械工学専攻 修了

2004年 森林たくみ塾 卒塾

2009年 静岡県富士宮市にて、工房を開設

以来、個展・企画展・クラフト展にて発表活動を行っています。

<受賞歴>

2015年 第54回 日本クラフト展 「奨励賞」受賞

<主な個展・グループ展>

2014年 食卓の道具展 (静岡 江戸屋本店ギャラリー)

一生ものの木の家具と器展 (名古屋市 文化のみち榎木館)

木のランプシェードとうつわ展 (奈良市 フィールドノート)

名雪園代

1973 兵庫県生まれ

1999 金沢美術工芸大学大学院修了

1999 金沢卯辰山工芸工房漆芸技術研修者 (~2002 修了)

現在、金沢美術工芸大学にて非常勤講師など

<受賞歴>

2000 高岡クラフトコンペティション 2000 奨励賞

2003 公募展「ACCESS / ACCESSORY」特典受賞

2009 国際漆展・石川 2009 審査員特別賞

2012 日本ジュエリーアワード展 優秀賞

2012 現代茶の湯アワード 銀賞

<個展・グループ展など>

2011 三人展 BODY EXTENTION (Geneva Suisse) / 2013

2012 BODY EXTENTION (東京・CLASKA および韓国にて)

2012 世界漆芸展 (Seoul Korea)

2013 モノトヒト 30days (金沢・モノトヒトギャラリー)

2014 名雪園代漆展 (東京・Azabujyuban Gallery)

野田里美

愛知県生まれ

2003年4月~2005年3月 岐阜県セラミックス技術研究所 研修生として在籍

現在、名古屋市にて作陶。 中部、関東を中心に個展、グループ展開催

<受賞歴>

2011年 第50回 日本クラフト展 入選

2010年 第5回 (財)金津創作の森財団 「酒の器展」 入選

2009年 工芸都市高岡 2009クラフトコンペ 入選

2005年 「第39回 女流陶芸公募展」 T氏賞

2004年 ビアマグランカイ 5 審査員特別賞

<主な個展・グループ展>

2006、2011年 陶林春窯にて個展  
2008、2010、2013年 THE SHOP 十二ヵ月にて個展  
2011年 恵比寿三越・クロスイーにて個展  
2013年 ギャラリー ceraにて個展  
新宿伊勢丹、日本橋三越にてグループ展参加多数

野村絵梨花

愛知県生まれ

2001年 岐阜県立多治見工業高校専攻科陶磁科学芸術科卒業  
現在、名古屋市内で作品制作を行っている。

<受賞歴>

2011年 第50回記念せと陶祖まつり新進作家による“食を楽しむ器”展 料理家廣瀬ちえ賞

2014年 「第3回専攻科陶芸展」審査員特別賞

架谷庸子

1981年 石川県生まれ

2007年 石川県立九谷焼技術研修所卒業  
卒業制作展にてパーマネントコレクションに選ばれる  
以来福島武山氏に師事

現在、金沢の工房にて作品制作を行っている。

<受賞歴>

2011年 北國女流美術展 最高賞

2013年 伝統九谷焼工芸展 奨励賞  
全国伝統的工芸品公募展 伝統的工芸品産業振興協会賞

引持玉緒

1965年 大阪府生まれ

1988年 輪島塗の仕事に従事

2008年 北陸先端科学技術大学院大学・石川伝統工芸イノベータ養成ユニット参加

現在、輪島塗ぬり工房楽LaQueで新商品企画開発を担当

<受賞歴>

2010年 いしかわブランド認定 リメイク漆器・輪島塗手塩皿TSUBAKI

2011年 いしかわブランド認定 輪島塗練乾漆KOKEMUSU酒器シリーズ

2012年 石川県産業活性化ファンド採択

2013年 石川県デザイン展 石川県九谷陶磁器商工業協同組合連合会理事長賞

2014年 「国際漆展」入選

<2009年以降の主な個展・グループ展>

2010年 「金沢からお正月」(松屋銀座)

2011年 「ココがスゴイ! 伝統工芸イノベータ展」(石川県伝統産業工芸館)

2012年 「練乾漆・今様の輪島塗展」(日本橋三越本店)

2014年 JAPAN EXPO PARIS/WABISABI 出展

廣瀬由利子

1967年 石川県金沢市生まれ

関西学院大学・大学院でキリスト教美術史を学ぶ



現在、株式会社自遊花人代表取締役として、水引工芸品の制作と販売を行っている。

<受賞歴>

2004年 石川県デザイン展奨励賞受賞

2005年 工芸都市高岡 2005年クラフト展にて審査員賞ほか受賞

2005年 金沢市工芸展入選

<2009年以降の主な個展・グループ展>

2013年 「生活工芸/金沢 2013」 (東京 代官山 T-SITE ガーデンギャラリー)

2013年 「水引 和のこころ・和のかたち」 (東京 ガレリイ キルシュ)

2014年 「寿ぎのかたち」 (金沢 自店ギャラリー)

2014年 「五月のしつらい 花・水引」 (金沢 石川国際交流サロン)

2015年 「春を呼ぶ水引」～新しい水引のかたち～ (東京 銀座の金沢)

福島悠紀

島根県松江市生まれ

愛知県窯業技術専門学校デザイン科及び専攻科卒業

2015年9月に独立し、現在、愛知県瀬戸市に工房を構え制作しています。

<展歴>

2014年 「大黒ギャラリーくわみつ」(広島県)

2015年 同上

藤田紗代

1981年 千葉県生まれ

2004年 武蔵野美術大学 造形学部 工芸工業デザイン学科 ガラスコース 卒業

2008年 東京芸術大学 大学院美術研究科 修士課程 工芸専攻 ガラス造形研究室 修了

2011年 東京芸術大学 大学院美術研究科 博士後期課程 工芸専攻 ガラス造形領域 修了 博士号取得

現在、千葉県にて作家活動

<受賞歴>

2009年 第2回 volvo アート&デザインコンペティション 優秀賞

2010年 第49回日本クラフト展 丸の内賞

2010年 国際ガラス展・金沢 2010 奨励賞

2011年 第4回現代ガラス大賞展・富山 2011 優秀賞

2012年 第5回アーティクル賞 準グランプリ

<2009年以降の主な個展、グループ展>

2010年 個展「佇む一场景のかたち」Pepper's Gallery

2011年 個展「漂う一场景のかたち」石川県立伝統産業工芸館

2011年 「Talente2011」 Internationale Handwerksmess (ドイツミュンヘン)

2012年 東美アートフェア 4人展「祈」東京美術倶楽部 村越画廊ブース

2013年 個展「ほこら」村越画廊

船木大輔

1977年 金沢市生まれ

1996年 石川県立工業高校工芸科卒業

1997年 金沢美術工芸大学聴講生修了

2004年 石川県立九谷焼技術研修所研究科卒業

現在、能美市の自宅工房にて制作を行っている。

## <受賞歴>

2008年 第23回陶芸美術館展覧会抹茶茶碗コンテスト 大賞グランプリ受賞

2010年 ユニークな器展2010 優秀賞受賞

2012年 四日市萬古陶磁器コンペ2012 審査員特別賞受賞

## <2009年以降の主な個展・グループ展>

2013年 色えほん展 (二人展/横浜高島屋/神奈川)

2013年 天衣無縫展 (グループ展/ Gallery PANNONICA/石川)

2013年 妖怪讃歌展 (二人展/陶庵ギャラリー/石川)

本多絵美子 (グループものけん)

企画展参加メンバー：本多 絵美子 (東京都生まれ)、翁長 優 (静岡県生まれ)、安藤 雅人 (千葉県生まれ)、佐藤 優衣 (東京都生まれ)、亀田 靖峻 (東京都生まれ)

木彫刻家 本多絵美子と大東学園高等学校ものづくり研究所部の部員と卒業生が集まり2013年に結成。

展示など：

2013年 ウォーキングイベント記念品制作 (東京/世田谷区役所船橋まちづくりセンター)

「ものラボ」展 (東京/大東学園高等学校)

2014年 「ものフェス」展 (東京/大東学園高等学校)

現在のこと：メンバー各自の得意分野を総合し、陶や木、革、樹脂などの素材を用いた作品制作から映像制作まで多岐にわたるものづくりを行っている。

前田直紀

1977年 静岡県生まれ

2000年 大阪産業大学工学部環境デザイン学科卒業

2002年 サラリーマン生活を経て全国窯場を廻る

京都で修業ののち、現在静岡に戻り制作。NHK文化センター、藤枝市陶芸センター元講師、静岡県工芸家協会理事。

## <展歴>

2013年 Artist in residence (仏 Vallauris)

International workshop&symposium (フィンランド)

2014年 Argilla-Italia Faenza (イタリア Faenza)

International fine art festival (チェコ Horice)

その他 パリ、台湾、韓国等 国内外で制作や展示

丸山 薫

1976年 新潟県生まれ

1998年 日本大学工学部建築学科卒業

2000年 岐阜県高山市 森林たくみ塾 卒業

現在、岐阜県高山市清見町に木工房、「ファニチャースタジオ noco」を構え、作品制作を行っている。

## <展歴>

2008年 大丸梅田店 「飛騨・高山 手の仕事人展」

2011年 阪神梅田本店 「飛騨・高山 手の仕事展」

2012年 名古屋タカシマヤ「飛騨のクラフト展 春の足音」

三上 想

1985年 東京都板橋区出身

2007年 東京藝術大学美術学部工芸科鑄金専攻卒業

2009年 東京藝術大学大学院美術研究科鑄金専攻修了

現在、宮崎県綾町・自宅工房にて制作を行っている。

<受賞歴>

2006年 東京藝術大学 内藤春治賞 受賞

2009年 修了制作東京藝術大学買上賞 受賞

<主なグループ展・個展>

2010年 陶・漆・鑄物の6人展「いっぷく展+plus」(築地・うおがし銘茶)

2011年 千代田芸術祭 2011 マーケット部門「Whole Arts Market」参加(千代田区・アーツ千代田 3331)

2012年 日本橋三越 アートで楽しむクリスマス展出品(日本橋三越)

2013年 グループ展「Cadeau de Noel II-クリスマスの贈りもの-」(表参道・かわかみ画廊)

2014年 個展「青銅と真鍮の植物たち」(日本橋三越)

宮脇まゆみ

1973年 石川県生まれ

1944年 金沢市内の陶芸教室に通う

1997年 珠洲焼研修塾に入塾

2000年 石川県クラフト協会に入会

2003年 珠洲焼創炎会参加

2009年 鳳珠郡能登町にて「しこたろ窯」築窯

現在、金沢市の自宅において作品制作を行い、焼成は能登町にて行っている。

<主な個展・グループ展>

2010年 「彩縁」(グループ展・金沢ガーデンホテル)

2010年 「珠洲の黒」(石川県立伝統産業工芸館)

2011年 「第4回 Cook It Row」に出品(石川県開催)

村井大介

1979年 三重県生まれ

2012年 愛知県立瀬戸窯業高校セラミック陶芸専攻科 修了

現在、愛知県瀬戸市の自宅兼工房(工房名:atelierjuca)にて制作を行っている。

<受賞歴>

2012年 四日市萬古陶磁器コンペ 2012 入選

<主な個展・グループ展>

2013年 atelierjuca 春の器とかわいい動物展(遊び舎)

2014年 トッテのある形 part2 (ギャラリーヴォイス)

2015年 ひなまつり展(白竹ギャラリー)

村井陽子

1984年 愛知県生まれ

2007年 愛知教育大学生涯教育課程造形文化コース陶芸専攻 卒業

現在、愛知県瀬戸市の自宅兼工房(工房名:atelierjuca)にて制作を行っている。

<主な個展・グループ展>

2013年 atelierjuca 春の器とかわいい動物展(遊び舎)

2013年 Petituluxe Selection 陶芸展 vol.2 (Gallery Petituluxe)

2014年 トッテのある形 part2 (ギャラリーヴォイス)

2015年 ひなまつり展(白竹ギャラリー)



本江和美

1967 石川県能美市生まれ

1990 金沢大学教育学部卒業

竹工芸作家・橋本仙雪氏に師事

<受賞歴>

1991 金沢市工芸展初入選（以降18回）

2001 現代美術展初入選

2002 石川の伝統工芸展初入選（以降9回）

2007 日本伝統工芸展初入選（以降3回）

2009 竹網代四菱編花織文筥 中村記念美術館買い上げ

森本悦子

1955 福井県生まれ

1978 福井大学教育学部専攻科修了

2006 加賀繡伝統工芸士認定

2007 北國女流美術展次賞

2008 金沢市工芸展入選

2012 石川県伝統工芸展入選

現在、北國新聞文化センターなどの講師を務めながら作品制作を行っている。

吉岡正義

1971 金沢市生まれ

1990 石川県立工業高等学校工芸科卒業

1992 石川県立九谷焼技術研修所卒業

現在、陶庵の代表として、作陶を行っている。

<受賞歴>

2014 第70回記念金沢市工芸展 金沢工芸協会会長奨励賞受賞

<展歴>

2003 個展（東京・日本橋高島屋）

2011 個展（金沢・名鉄エムザ）

2012 金沢市クリエイティブワルツ

「金沢九谷焼展」（韓国利川市）

2013 個展「JENGGARA KERAMIK」（インドネシア・バリ島）